



「介護者家族の集い」 開催決定！

日頃の介護の悩みを、お互いに語ってもらうことを目的にしています。

日時〉 平成21年1月22日(木)

午後 1時30分 ～ 4時

場所〉 福祉センター さつき荘 スポーツ室

内容〉 介護者座談会『語ろう。分かち合える思い』

参加費〉 500 円 (当日徴収させていただきます)

申し込み・問い合わせ〉

介護者家族の集い事務局 (田崎)

(電話) 367-1761

(FAX) 367-7407

プロによるマッサージの
「ちょこっと体験」がで
きます。皆様のご参加を
お待ちしております。



平成20年8月20日(水)、福祉センターさやま荘で、「第2回介護者家族の集い」を開催しました。

今回の介護者家族の集いでは、「介護されているご家族が少しでもリフレッシュしていただくこと」をテーマに、さやま落語会による落語会と座談会を行いました。

第2回 「介護者家族の集い」 開催しました！



〈第2回の様子〉

座談会では、活発な意見が飛び交い、日頃の介護の大変さをうかがうことができました。

介護者だより

第4号

(発行所)

大阪狭山市地域ケア会議
介護者だより編集委員会

〒589-0005

大阪狭山市狭山一丁目

862 番地の 5

(TEL) 072-368-9922



広めよう 地域の声

「介護者だより」では、地域の方や福祉関係の方からのご質問や困りごとの相談、地域の方に教えてあげたい暮らし方などを募集しています。今回は地域の方とケアマネジャーさんからのご質問を掲載させていただきます。

問 介護保険の新規申請に行く勇気がありません。誰か付き添ってくれる人はいませんか？

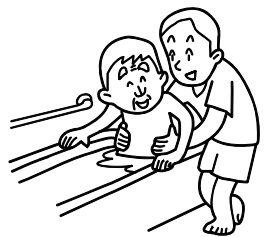
答 地域包括支援センターにご相談ください。必要があれば、市役所に同行することもできます。

問 退院後、医師より安静にしているように言われたが、家族が働いているため、昼間一人になってしまふので何かあれば心配。こういう場合、デイサービスを利用できますか？

答 介護の部分より、医療的な支援が大きい方のサービスの利用についてですが、デイサービスのよくな介護サービスの利用については、本人の状態を考えると、先ずは療養を優先していただくことが重要だと思われます。

ただ事業所により設備面、医療ニーズへの対応、サービス提供内容により受け入れを検討して

くれる場合もあります。その場合は、左記の留意点について考えていただいた上で、事業所にご相談下さい。



《留意点》

①主治医から安静という指示が出ている以上、定期的なベッドでの休養や歩行能力がある方でも安全を考慮して車いす対応させていただくこと、入浴も介助浴(機械浴)や状況によっては清拭のみで対応することも考えられます。

②デイサービスでは、施設から自宅までの送迎を行います。送迎コースによっては他の利用者と同乗していただくかなければならず、ある程度、車に揺られることになってしまいます。

③デイサービスでは医師が不在ですので、急変時や体調不良時には主治医への受診やご自宅での安静を求める形となってしまいます。その際、どうしてもという場合を除き、受診時のご家族様の立ち会いやご自宅への受け入れ体制を整

その相談、コミュニティソーシャル ワーカーがお聞きします

・第三中学校区CSW (担当) 田崎
大阪狭山市社会福祉協議会
(電話) 367-1761

・南中学校区CSW (担当) 牧野
地域活動支援センターいーず
(電話) 367-3990

・狭山中学校区CSW (担当) 野口
大阪狭山市人権協会
(電話) 247-7024

暮らしの中の福祉の
困りごとは、コミュニ
ティソーシャルワーカー(CS
W)がお聞きしま
す。気軽にご連絡下
さい。



シリーズ 介護体験③ 『昔の記憶』

母は、もうすぐ
九十六歳を迎えます。

今、要介護四でデイサービスと
ショートでお世話になっておりま
す。



八十八歳位より、少しずつ物忘
れが始まり、今はすぐの記憶もな
くなっていきます。

その母は、脳出血のため三十九
歳の若さで先立つた夫に代わり、
三十八歳から九歳の長男、六歳の
長女(私)、三歳の次男、三ヶ月の
三男と四人の子供を舅・姑と共に
看護師だった職業を生かし、頑張
って私たちを育ててくれました。

子供たちが成人するまでは、死
ねないと言っていました。

おかげで、皆、健康に育ち家庭
を持てたことは、母のおかげと感
謝しております。

今は、昔のような母は見つかり
ません。

それでも、この前のことですが
お世話になっているショートステ
イから毛筆書きの俳句をもって帰
ってきてくれました。それは、自
分の生まれ育った浜辺の風景が
書いてありました。子供の頃によ
く連れて行ってもらった場所だと
すぐわかり、『母がいる!』と、と
ても嬉しくなりました。達筆な字
体も母そのもので、驚きました。

私もまだ働いておりますので、
隣に住んでいる兄と協力して介護
しております。母は、トイレにも
行ってくれますし、足も丈夫です
から助かります。

デイサービスとショートステイ
でお世話頂いて本当にありがたい
です。

スタッフの皆さんも優しくして
くださりいつも感謝しております。



このたび、「介護者だより」第4
号を発行することになりました。
今年度になって2回目の発行で
す。

「介護者だより」では、みなさま
から「地域の声」を募集していま
す。ご意見、ご質問等がありまし
たら、CSW牧野(367-3990
O)までご連絡ください。

「介護者だより」がみなさんの
ご期待に添えられるよう、編集
委員一同さらなる努力をしてい
きたいと思っています。今後とも
「介護者だより」をよろしくお願
いします。

在宅サービスを支えるサービスの紹介

脳梗塞で入院しているBさんの退院をとおして、その後の生活についての支援の流れやサービスなどを紹介していきたいと思います。

Bさんは、右半身に麻痺が残っていますが、杖を持って一人で歩くことができるまで回復しました。

退院についての準備を進めて行くよう医師より話しがあったので、病院の相談員に相談し、関係者にて、自宅へ帰るための打ち合わせを行いました。



自宅に帰っても、安全に生活が出来るようにしたい。体が弱らないように、リハビリは続けたい。

退院前カンファレンスにて、自宅内で自立した生活動作が図れるよう、住宅改修を行う事となりました。又、退院後もリハビリを続けたいと本人と家族の想いがあり、介護サービスの通所リハビリを週2回利用されることとなりました。



トイレにもお風呂にも手すりがついて安心だ。家に帰ってからも、リハビリが続けられるのでうれしい。

毎月受診時は車イスを使用し、家族が付き添って、介護タクシーや福祉タクシーにて病院まで通っています。



車イスを買わなくても、レンタルできるので助かった。普段は、出来るだけ、杖を使って頑張ろうと思っている。

デイケアでのリハビリにも懸命に取り組まれ、歩行状況もだいぶ安定するようになってきました。院内も杖での移動が可能になったため、車イスは返却することとなりました。

《ワンポイント》

相談員（医療ソーシャルワーカー）

退院などのいろいろな相談にのってくれる方です。病院によっては違う名称で呼ばれている場合もあります。



自宅へ帰るための打ち合わせ

『退院前カンファレンス』などと呼ばれることもあります。医師や理学療法士などの医療従事者と、ケアマネジャーなどの介護従事者が、退院後の支援や注意点など本人家族を交えて話し合います。



《ワンポイント》

住宅改修

住宅改修にかかった費用(上限 20 万円)の9割について、介護保険で負担するサービスです。尚、改修にあたっては事前に申請が必要です。



福祉用具レンタル

日常生活の自立を助けるための福祉用具を貸与します。



※車イスのレンタルについて・・・

車イスや特殊寝台については、介護度により利用に制限があります。詳しくは、ケアマネジャーにご相談下さい。

通所リハビリ

日帰りで施設に来て頂き、理学療法士や作業療法士の指導のもと、身体能力を維持向上させる運動を行うサービスです。



《ワンポイント》

介護タクシー・福祉タクシー

介護保険外の民間サービスです。車イスや寝台のまま乗る事が出来る福祉タクシーもあります。事業所によっては、運転手の方がヘルパーの資格を持っています。



※加盟団体が違うだけで、同じサービスの提供ができます。詳しくは、ケアマネジャーにご相談下さい。

Bさんらしい、自立した生活が続けられるように入院中から様々な機関がかかわりました。今は、趣味の山登りを目標に、奥様とともに日々前向きに暮らされています。

